

## PoINTJukebox Manager での NFS 共有について (2014/10/15)

有限会社オプティカルエキスパート

PoINT Jukebox Manager は Windows のドライブレター(デフォルトでは Zドライブ)に単体のメディアやボリュームセットをフォルダーとしてファイルの読み書きが可能になるように仮想化します。この Zドライブは、Windows のファイル共有機能を使用してネットワーク共有されています。このファイル共有を Windows の CIFS ではなく、NFS で共有し、Linux からファイルの読み書きを行うためには、Windows 上で稼動する NFS サーバーソフトが必要となります。

そのためのソフトとして、ドイツの PoINT 本社から稼動実績もあるということで推奨された OpenText NFS Solo を使用して、NFS 共有のテストを行いました。以下に NFS で共有し、SuSE13.1 でマウントするまでの手順を紹介します。

### OpenText NFS Solo について

このソフトは、OpenText が買収する前は、HummingBird 社が開発販売し、日本ではマクニカネットワークス社が輸入代理店でした。OpenText はカナダの OpenText 社と事業統合する前はイキソスソフトウェア(iXOS)社で、光ディスクライブラリーの管理ソフトとして著名な Jukeman の開発販売元です。Jukeman は、17 年ぐらい前に、当時の iXOS 社から競合の SmartStorage 社に譲渡され、その後会社自体が、OTG 社、Legato 社、EMC 社に買収された経緯があります。今回のテストにあたり、マクニカネットワークス社から販売されている日本語版の OpenText NFS Solo14 の評価版をダウンロードし、インストールしたのですが、肝心の NFS サーバー機能が見つかりません。

マクニカネットワークス社に確認した所、日本語版は NFS サーバー機能を削除して、NFS クライアント機能に限定しているとのことでした。それで、今回のテストでは OpenText 本社の Web サイトから直接販売されている英語版を使用しています。

### OpenText NFS Solo のインストール

通常の Windows ソフトと同じインストーラーを起動し、インストールオプションを選択出来るように Custom install を選択します。



以下がインストールオプションの選択画面で、NFS Server を選択します。デフォルトでは選択されていません。また日本語版では、NFS Server の項目自体が存在しません。

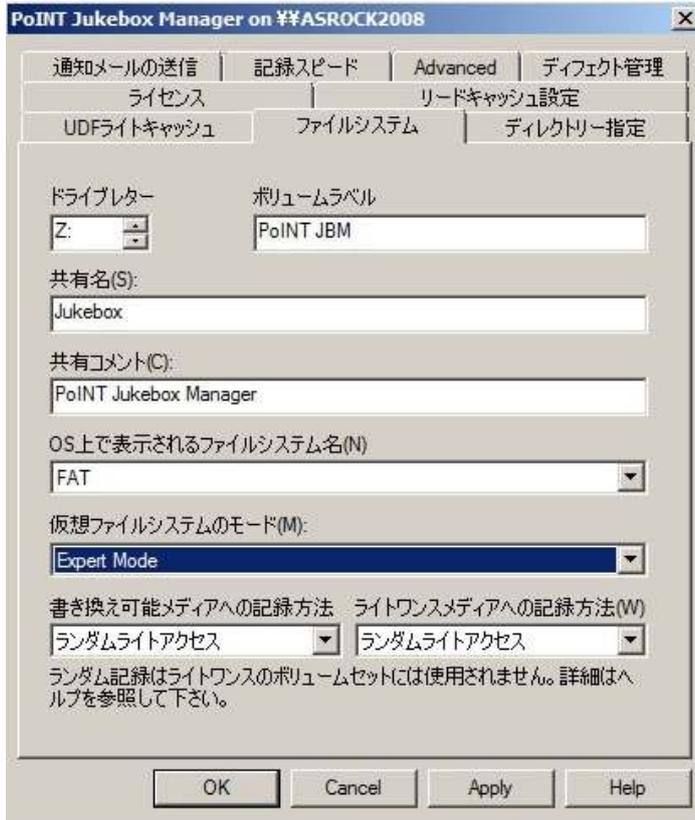


選択後は、そのままインストールを実行します。実行後には、システムの再起動が必要となります。

#### PoINT Jukebox Manager の設定変更

PoINT Jukebox Manager では、Zドライブの設定を変更するため、管理ツールのサーバーメニューの詳細設定からファイルシステムのページを表示します。

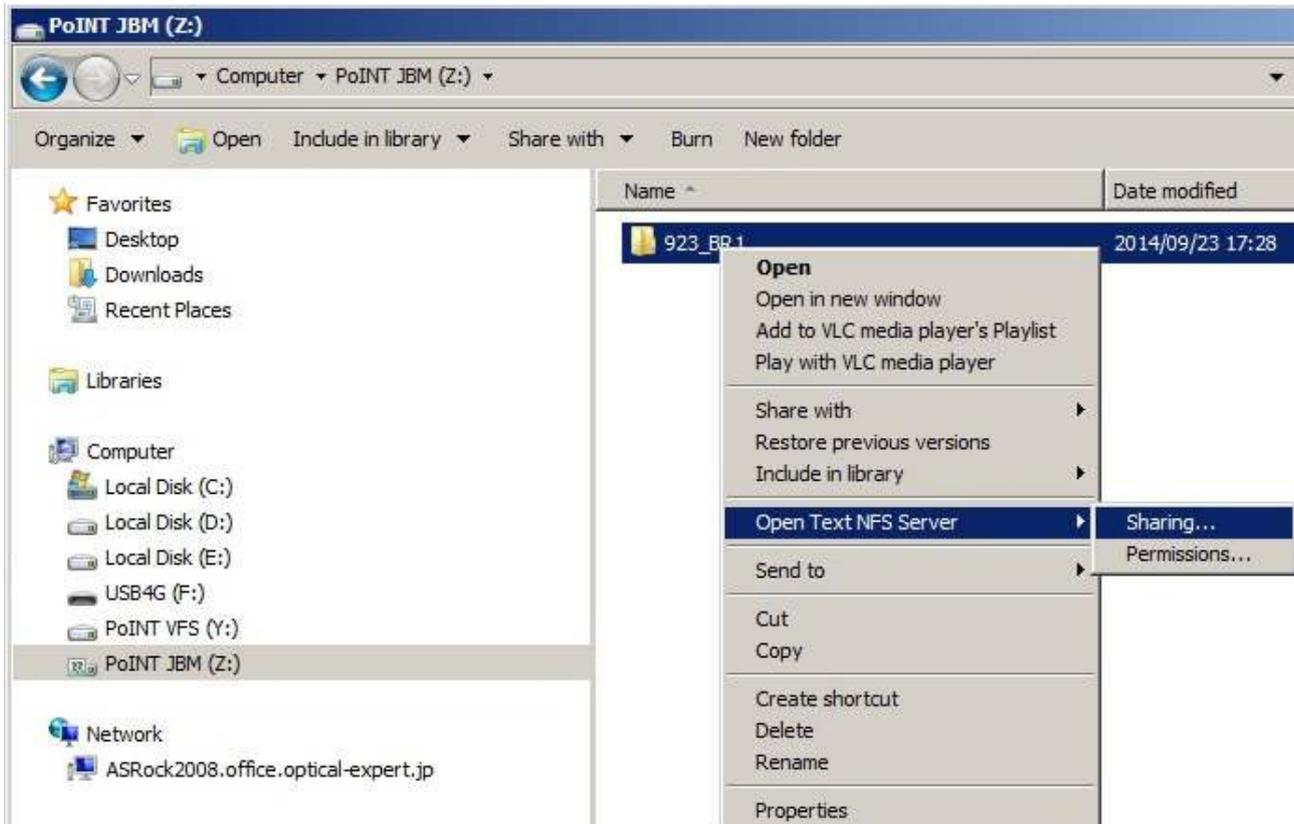
ファイルシステムの設定では、OS 上で表示されるファイルシステム名をデフォルトの CDFS から FAT に変更します。さらに、Z ドライブ下に自由にフォルダーやファイルを作成出来るように、仮想ファイルシステムのモードを Expert Mode に変更します。メディアへの記録方法は、書き換え可能なメディアはデフォルトでランダムライトアクセスになっていますが、ライトワンスメディアも同じランダムライトアクセスに変更します。



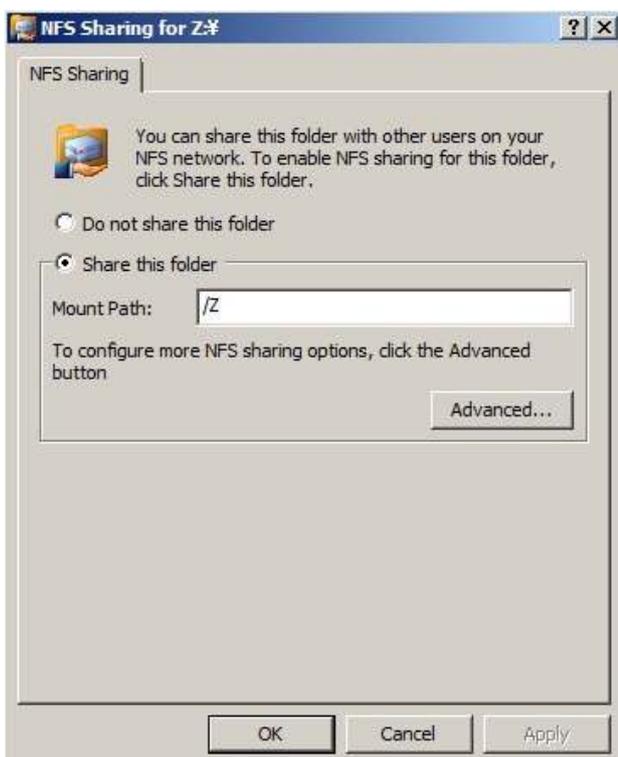
さらに、ライトキャッシュの設定を変更します。ここでは、2 分後に HD からメディアへの記録を開始するように設定します。



Windows のエクスプローラーを起動すると、Zドライブやその下にあるフォルダーの右クリックメニューには、以下のよう  
に Open TextNFS Server のメニューが表示されます。



Zドライブ全体を選択すると以下のようになります。

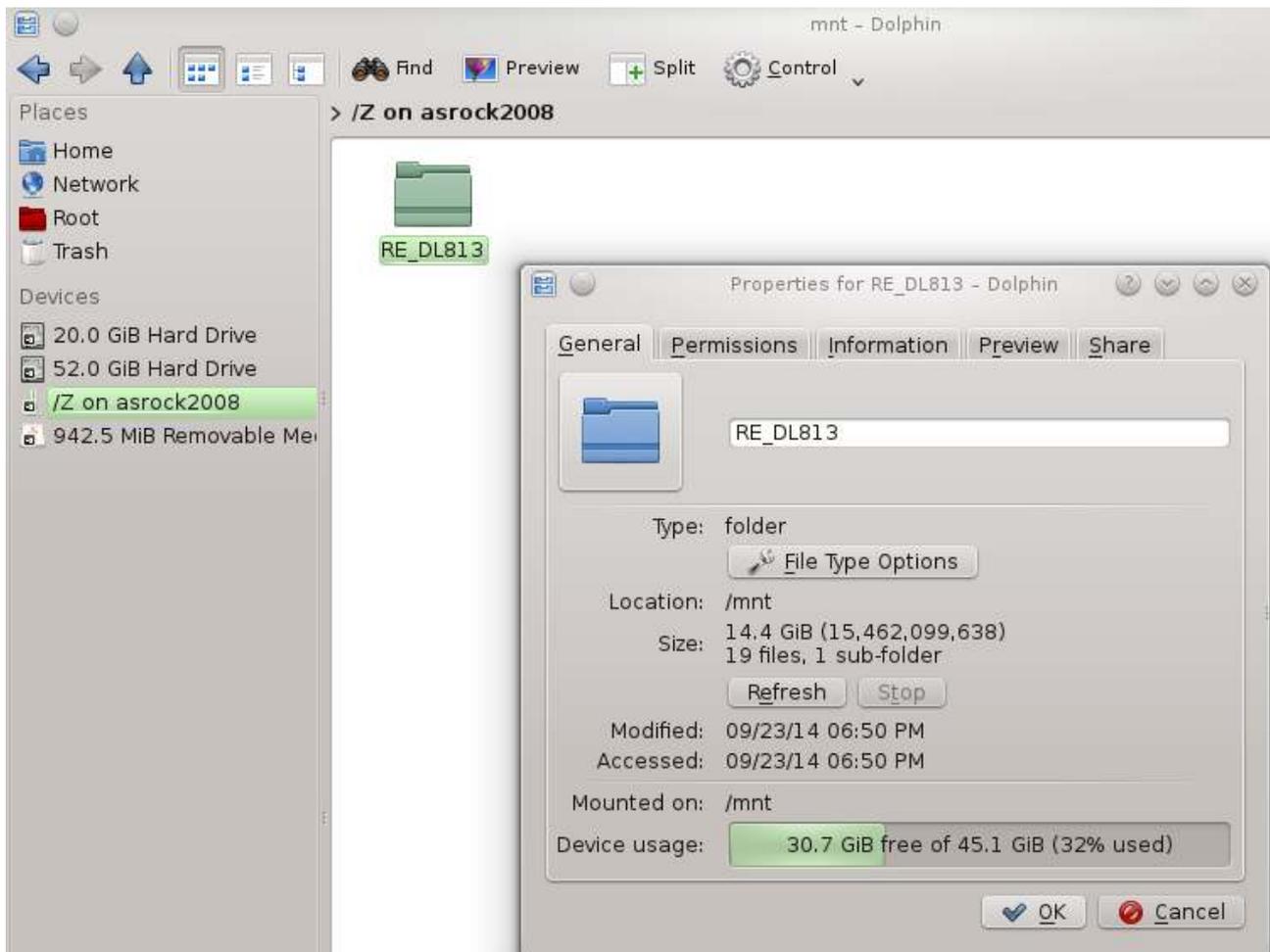


## SuSE Linux 13.1 からの NFS マウント例

このテストでは NFS としては、サーバー名 asrock2008 で Z が共有されているので、SuSE 上のコンソールからは、`mount -t nfs -o nolock asrock2008:/Z /mnt` のような感じでコマンドを実行すればマウントされますし、SuSE の管理 GUI からマウント出来ました。

```
ZAL10SE:/home/kadono # df
Filesystem      1K-blocks      Used Available Use% Mounted on
/dev/sda2        20519804    5264208  14190176  28% /
devtmpfs         4051240         32   4051208    1% /dev
tmpfs            4064208         76   4064132    1% /dev/shm
tmpfs            4064208        4180   4060028    1% /run
tmpfs            4064208          0   4064208    0% /sys/fs/cgroup
tmpfs            4064208        4180   4060028    1% /var/run
tmpfs            4064208        4180   4060028    1% /var/lock
/dev/sda3        53532156  18640060  33839856   36% /home
ZAL10SE:/home/kadono # df
Filesystem      1K-blocks      Used Available Use% Mounted on
/dev/sda2        20519804    5264212  14190172  28% /
devtmpfs         4051240         32   4051208    1% /dev
tmpfs            4064208         76   4064132    1% /dev/shm
tmpfs            4064208        4232   4059976    1% /run
tmpfs            4064208          0   4064208    0% /sys/fs/cgroup
tmpfs            4064208        4232   4059976    1% /var/run
tmpfs            4064208        4232   4059976    1% /var/lock
/dev/sda3        53532156  18640060  33839856   36% /home
asrock2008:/Z    24437760        1024  24436736    1% /mnt
ZAL10SE:/home/kadono # ls /mnt
923_BR1
ZAL10SE:/home/kadono # ls /mnt      メディア交換後にフォルダー名が変更されている例
RE_DL813
```

以下は SUSE のファイル管理ツールのスクリーンショットで、/Z on asrock2008 がマウントされており、その下の RE\_DL813 のフォルダーのプロパティが表示されています。このフォルダーは、BD シングルドライブの 2 層 BD-RE なので、記録可能なデータ容量が 45.1GB で、30.7GB が空き容量と表示されています。

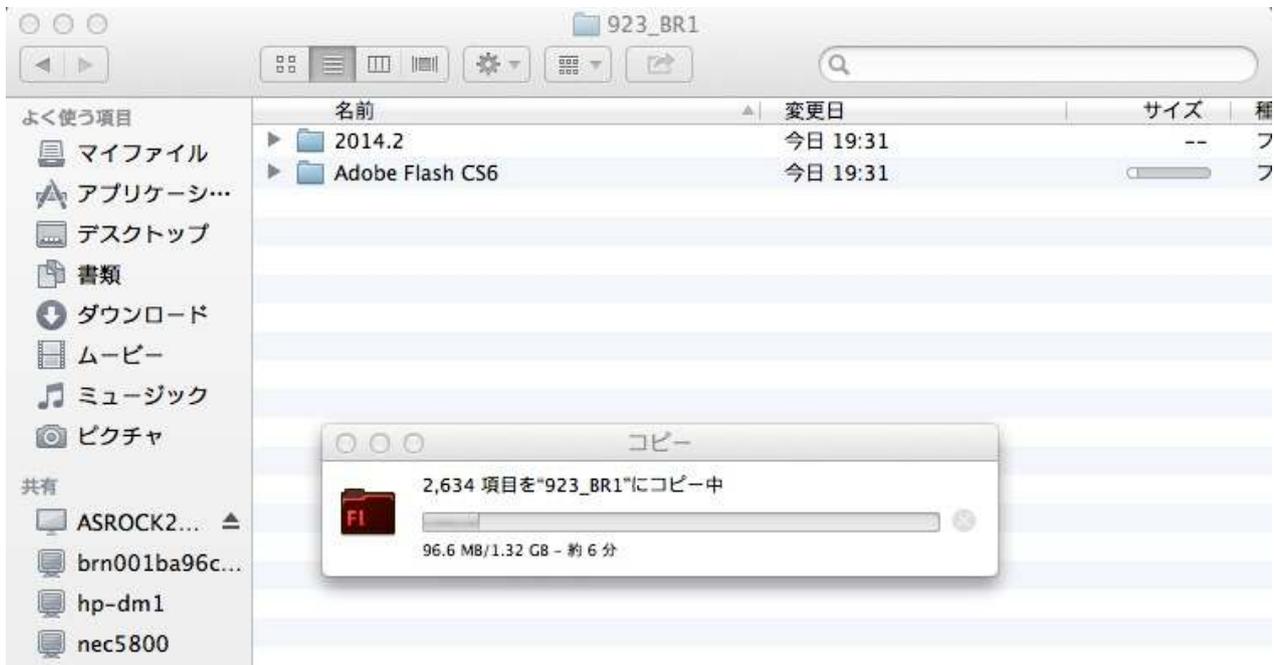


### MacOSX からの NFS マウント例

Mac からは、Finder の移動メニューから、サーバーに接続を実行します。サーバーアドレスで、以下のスクリーンショットのように指定します。nfs://ではなく、cifs://を使用すると CIFS で接続することも可能です。



Finder からは以下のようにフォルダーにアクセス出来ます。フォルダーをコピーすれば、以下のようにコピーが開始されます。



以下のスクリーンショットは、コピーが終了したところです。

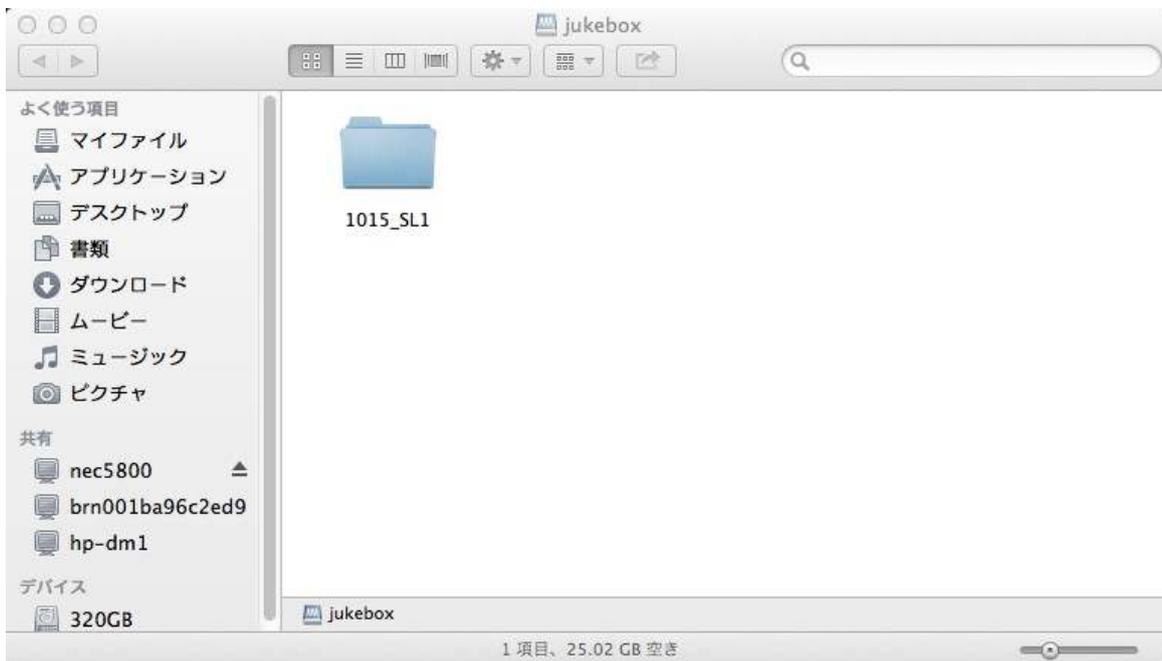


## CIFS でのマウント

NFS の場合と同様に、Finder の移動メニューからサーバーに接続を実行します。



同様に、共有されているフォルダーが見えます。



1015\_SL1 を開き、コピーしたいフォルダーをドラッグすると、コピーが始まります。

